

きらり おばま 人



谷口 健一さん（33歳・和久里）

競馬や競輪と並んで人気のある公営競技の一つ「競艇」。売上金の一部は、日本財団を通じて社会福祉や教育、文化などの活動や海、船にかかわる活動などの支援に使われています。全国に二十四ある競艇場を転戦している、嶺南唯一の競艇選手が谷口さんです。

「小浜の近くには競艇場がないため、皆さんあまり行ったことがないかもしれませぬ。ギャンブルとしてではなく、レースの迫力を楽しむモータースポーツとして、一度足を運んでいただくと競艇の魅力がわかってもらえると思います」と話す谷口さん。

地元の人に応援してもらえる選手になりたい

「デビューしたころは競技相手との勝負だと思っていましたが、今は自分との戦いだと感じています。課題はプレッシャーに打ち勝つことと体重管理。危険な仕事なので、常に自分を追いこみ集中力を高めることはもちろん、一キロでも体重が増えればレース結果に大きく影響するため、トレーニングで体を鍛えています」

毎回、約千五百人が受験して五十人しか合格できないこの世界。選手養成訓練所で一年二カ月間厳しい訓練をして、ようやくデビューすることが出来ます。谷口さんも何度か受験し、十二年前に念願の競艇選手になったそうです。

「八百長問題などが起こらないよう、レース期間中は外部との接触が一切禁止されていて、家族と電話もできないんですよ。レース期間が終わって、妻と子どもが待つ自宅へ帰ることが何よりの喜びです」と二児のよきパパは、家族の話になると終始笑顔。

「一月一日〜六日は、三国競艇場でレースが開催され、わたしも参戦します。ぜひお越しください、心強い声援をお願いします」

勝負の世界は厳しいですが、地元の人に愛される選手を目指して頑張ってください。

●あなたの周りの「きらり輝いている人」「生き生きしている人（グループも歓迎）」を紹介してください。
市長室 広報・広聴グループ ☎53・1111 内線325

「ふるさとづくり塾」開催



今富小学校では、6年生64人が参加しました（10月10日）

小学生のときから、自分に合った職業観や勤労観を醸成してもらおうとともに、働く喜びや楽しさ、夢や目標などを企業人が直接生徒に語りかける「ふるさとづくり塾」が行われました。

これは、人づくり事業に取り組んでいる小浜商工会議所地域づくり委員会が、六月から十二月にかけて市内の小学校七校の高学年を対象に実施したもので、同委員会の委員

七人が、「自分の長所を見つけて」「夢や目標に向かって全力で」「何事も決してあきらめない」「夢や目標のために何をすべきか考える」「きずなや出会いはとても大切」「積極的に心を開く」など、それぞれの実体験を交えながら生徒に説きました。

生徒らは、興味深そうに話を聞きながら、仕事をすすめる喜びを感じていたようでした。

短歌

小浜市歌人協会 市民短歌大会入選作

うつむきてがんばる孫の小さき指は
胸のボタンをやうやく留める
小松原 宮川なを子

夕日落ち路地に立ちあし幼な子は
仕事帰りの母に声あぐ
遠敷 山本 保子

トラクター大仕事終えひっそりと
巨体刈田に残されてをり
堅海 藤井 敏子

俳句

小浜市俳句作家協会

友病みて明日をも知れず寒卵
小浜日吉 河原 白社

全五巻揃ふ歳時記去年今年
中井 信谷 冬木

潮寄する川のへに生き老の春
小松原 森田 昇

山柳

若狭湾川柳舎

ゼロ歳に見てもらってる百面相
小浜広峰 佐古しげの

小説を地で行くような過去を持つ
小浜津島 今井 妙子

一日一步のんびりコース卒寿まで
野代 津田トシ子

広告

広告

広告

広告

広告

広告